

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

音と映像で、世界に感動をクリエイトする

売上高
750億円

経常利益
45億円

海外売上高比率
30%以上

自己資本比率
40%

② 中長期の経営戦略

1. ハニカム型経営の高度化

複数の収益事業でグループを構成し、外部環境の変化に強い事業構造を構築。M&Aで新領域に挑戦し、事業間シナジーを創出

3. 未来事業の育成

「騒音対策」と「バーチャルプロダクション」を戦略事業分野に位置づけ。世界4極体制確立で海外売上高比率30%を目指す

2. イノベーションによる事業創造

新アイデア提案制度の推進と、外部企業や研究機関との連携を活用し、新規事業創造と既存事業革新に取り組む

4. DXの推進

ビジネスDXで既存事業の高度化と新規事業創造。業務プロセスDXでバックオフィス効率化と顧客関係強化を実現

③ 対処すべき課題

① 経営環境の複雑化対応

- ・アフターコロナのライフスタイル多様化への適応
- ・デジタル技術の加速度的進展への対応
- ・地政学リスク増大への対処

② 収益体質の強化

- ・全部門共通の「一人当たり経常利益」最低目標値を設定
- ・ワンストップソリューション機能の強化
- ・大阪・関西万博やメディア関連の特需案件を着実に受注・遂行

③ グローバル展開の推進

- ・海外M&Aで世界4極体制（日本、アジア、北米、欧州）を確立
- ・ECを強化してB to Cビジネスの拡大

面接で使えるポイント

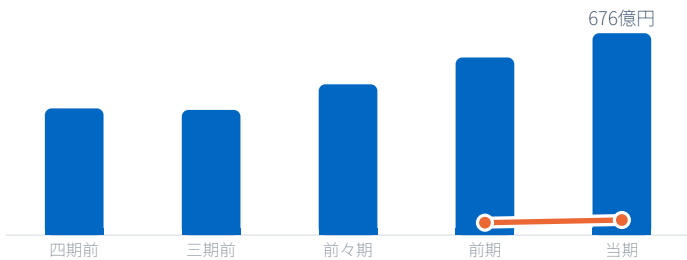
- ・ビジョン2025において、売上高750億円・海外売上高比率30%を目標に…
- ・騒音対策とバーチャルプロダクションを戦略事業分野に位置づけ、新たなものづくりへのチャレンジで未来事業を創造している
- ・ハニカム型経営とイノベーションの2つの成長戦略により、複数の収益事業を展開し外部環境の変化に強い体質構築を目指している

ヒビノ株式会社

サービス業 | スタンダード（内国株式） | 決算期 3月31日…

証券コード 2469

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
676億円

営業利益率
7.5%

財務健康度
38点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 50.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
671万円

サービス業内 156位/524社

平均年齢
44.7歳

サービス業内 74位/527社

平均勤続
14.5年

サービス業内 42位/527社

女性管理職
11.4%

サービス業内 266位/371社

男性育休
50.0%

サービス業内 230位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ヒビノ(株)【2469】：決算情報

ヒビノ株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

